講演会型＋子育てサロン型（幼稚園）

学　校　名	可児市かわい幼稚園
実施日時	平成２６年１１月１８日（火）10：00～11：00
会　　場	かわい幼稚園ホール
参加人数	41 人
学習課題（分野）	**性教育・いのちの大切さについて学ぼう・サロン**
運営者の願い	普段子どもとの関わりで「どこからうまれたの？」などの疑問にどう答えたらいいのか、性に関する子どもの気になる行動をどう受け止めたらいいのか等、疑問に感じていることがあるが、その接し方や、いのちの教育として幼児期から大切にするとよいことについて学びたいと考え講演会とサロンを計画した。

学　習　の　内　容

＜開会＞
・開会あいさつ・講師紹介（役員）
・園長挨拶

＜講師＞
渡辺　武子先生…元中学校教諭、幼児の性教育や障害者の支援に携わってみえる

＜講話＞
○学級生に対し疑問や質問をアンケートで募り、講師に事前に送付。
　アンケートから親子のかかわりができていることが伺われた。
○諸外国に比べ性教育が遅れている現状と思春期の乗り越え方や自己決定（選択力・判断力）できる力をつけるための幼児期の過し方、心構えについて
○子どもの疑問を受け止め、望まれて生まれてきたことを伝え、愛着形成が育まれるように絵本や話で伝えることが必要である。
○人との関わりを持ち、思いきり遊べる体験をし、自分の感情を素直に出せようになることで、一番難しい思春期を乗り越えることができる。

＜サロン＞
グループに分かれ感想・疑問を話し合う。

＜アンケートより＞
・性教育と聞くと難しく思っていた部分がありましたが、愛情が一番の源にあり、子どもの疑問に素直にそのまま伝える大切さを学びました。母親として知識があまりないので、こういう勉強会に積極的に参加したいと思いました。
・子どもたちの立場から考えると知らないではなく、知りたいと思うのが本当で、親の私たちからも大事な存在で愛されて生まれてきたことを伝えていきたいと思いました。
・まだまだ早いかなと思っていた性教育を、想像していた以上の事を子どもに伝えてよいという事、そして、それが今後思春期などで大きく関わってくるという事が勉強になりました。
・子どもに伝えられることはしっかりと伝えたいと思います。大切におなかの中で育った事、望んで生まれた事、どうやって生まれたか、とてもとても大切な存在であること…いろいろと話し合える関係でいたいです。また、子育ては愛を伝えあったり感じあえたり、とても楽しいと改めて感じました。
・性教育を少しずつでも言葉に出して教えていきたいと思います。とても大事ないのち、大切な体という事をプラスの方向で伝えていけるのが理想です。話す事は上手ではありませんが、はぐらかさないで話してあげようと思います。

＜質疑応答＞

＜閉会＞

≪事前アンケートによる前向きな受講≫
子どもさんからの質問で困ったことなど性教育について感じている事を事前に講師に伝えておいたため、主体性や意欲が感じられた。講師もアンケートの内容に答えながら進めていただけた。

≪いのちの教育≫
性教育を通して、心の育ちや親子のかかわりの大切さに気付くことができ、思春期までを見通した内容で、多くの事を学ぶことができた。
継続して学びたいという意見も多くあった。

≪サロンで学びあう≫
講演後に小グループで話し合いを持つ事でいろいろな人の思いを知り、学びあい共感しあう場となった。